

2022年3月10日

ロシア連邦大統領  
ウラジミール・プーチン 殿

埼玉県保険医協会  
理事長 山崎 利彦

## ロシアによるウクライナ侵攻の停止、 速やかな撤退と平和的解決を求めます

2022年2月24日、貴国は独立を承認したウクライナ東部の親露派2地域を保護するなどの理由で、ウクライナへの軍事侵攻を開始し、その後全面侵攻に及んでいます。この間、周辺へ逃れたウクライナ避難民は200万人は超え、不安な日々を送っています。貴国によるウクライナへの軍事侵攻は、国際社会の平和と秩序を著しく脅かす行為であり、国連憲章に違反し、断じて容認することはできません。

プーチン大統領は、ウクライナ侵攻開始にあたり、「ロシアは核保有国の一つだ」「われわれに攻撃を加えれば不幸な結果に」などと演説しました。核兵器の使用を示唆する威嚇は、核兵器禁止条約で禁じている核兵器による威嚇にあたり、明らかに国際法違反であります。日本は世界で唯一の被爆国であり、核兵器が二度と使用されることはあってはならないという被爆者の思いを踏みにじるこうした行為に断固として抗議します。

核兵器禁止条約が発行して1年が経過し、その後、加盟国は増えつつあり、核なき世界に向けた新たな動きの中で、貴国の軍事侵攻は逆行する行為です。

いまウクライナで市民の命が、若い兵士の命が、軽々と失われています。これは有ってはならないことです。はっきりしている事は、政治の失敗としての戦争のしわ寄せは、いつでも弱い市民や若い兵士にもたらされます。まず戦争は止めてください。そして話合ってください。今からでも遅いということはありません。

世界が希望していることは、同じ人間同士、一人一人の命と生活が大切にされる、戦争のない平和な世の中であることです。

私たち医師、歯科医師は貴国に対して次のとおり求めるとともに、平和的解決を切望します。

- 1 ロシア軍は直ちにウクライナから撤退してください。
- 2 戦争を止めて平和的交渉のテーブルに着いてください。
- 3 核兵器での威嚇は一切行わないでください。

以上